

平成22年度「緑のカーテン」コンテスト結果

<目的>

枚方市では、地球温暖化防止や暑気対策の有効手段の一つとして手軽に取り組める「緑のカーテン」の設置を市民に呼びかけるとともに、その取り組みをホームページなどで紹介することで、市内における緑のカーテンの普及を促進することを目的に「緑のカーテン」コンテストを実施しました。

【緑のカーテンとは】

- ・夏の暑い時期に、日当たりの良い窓の前面などをゴーヤやアサガオなどのつる性植物でカーテンのように覆い、日差しを和らげるものです。

【緑のカーテンの効果】

- ・「緑のカーテン」が直射日光を遮るので、建物壁面や建物内部の温度上昇を抑えられます。また、葉からの蒸散によって周辺温度を下げる効果があるとされています。
- ・夏場の冷房使用はエネルギーを大量に消費します。また、室外機から排出される熱は、地球温暖化やヒートアイランド現象につながります。
- ・緑のカーテンに取り組むことで、建物内部の温度上昇が抑えられ、冷房の使用を減らすことが出来るため、地球温暖化対策やヒートアイランド対策、また省エネにも期待できます。

<対象>

- ・枚方市内で緑のカーテンを設置し、取り組みについて報告できる方（個人、企業、学校も可）
- ・つる性の植物であれば、どのような植物を利用しても可。

<参加者募集>

- ・募集期間：平成22年8月10日～9月15日
- ・広報ひらかた5月号・8月号及び市ホームページで参加者を募集しました。
- ・参加者からは、報告書を郵送、電子メール等で提出していただきました。
- ・報告書は緑のカーテンに取り組む上での工夫や効果、感想などの記入と、緑のカーテンの写真（全体の様子がわかる写真を含む）を添付して提出していただきました。

<参加件数>

- ・平成22年度 参加件数 45 件

【最優秀賞】

大阪府立刀根山支援学校
精神医療センター分教室

受賞理由：校舎を囲むように北側・西側・南側で大きくて葉が密生した立派なカーテンを作っている。北側・西側では見て長く楽しめるように「早咲き、遅咲き」の朝顔を植え、日除け効果を大きくするため、「ひょうたん、刀豆」を使って2重のカーテンにするなど工夫がされている。南側では2年続けて同じ場所に植える計画をし、土作りから行っており育てるにあたって、小中学生全員が参加するなど環境教育にも取り組んでいる。



【優秀賞】

上野金属 株式会社

受賞理由：ゴーヤ。ぶどう。朝顔など45株でカーテンを作り、屋根部分は遮光ネットを併用してトンネル風にすることで日影を多く作りだし、省エネ効果を上げている。また社内からでる茶ガラ等を肥料化してゴミの減量に繋げるとともに、雨水タンクを手造りして活用するなど前向きな取り組みとなっている。



【優秀賞】

株式会社 くらこん

受賞理由：工場から出る廃棄物の再利用及び散水機の手造りなど、エコで積極的な取り組みとなっている。廃材として出していたビニール紐をゴーヤを這わせるネットに利用し、散水には工場排水の浄化した水を、ホース・自動散水装置・ノズルからなる手造りの散水機で行い、工場排水の浄化過程で発生する汚泥を肥料としている。また収穫した実を配り環境活動をアピールし環境意識をたかめている。



個人部門

【最優秀賞】 南 明 さん

受賞理由：毎年「緑のカーテン」作りに取り組んできた経験から、ゴーヤが最も相応しいカーテンとしてガレージに設置しているラティスを利用し、地植え場所の土を入れ替え、苦土石灰、油粕・鶏糞・化学肥料を施し、ゴーヤ7株、ささげ4株を植え、葉が密生した完成度の高いカーテンを作っている。



【優秀賞】 大島 敬次郎 さん

受賞理由：ゴーヤ3株、オーシャンブルー1株で葉が密生したカーテンを作っている。カーテン作りは、まずネットを張るために竹などで支柱を作りネットを張っている。葉を密生させるためにツルを2～3日毎に誘引するなどこまめな対応をしている。またゴーヤの実の収穫に関して、1株から15個のゴーヤを収穫しており、根元を太くしたことで得られたことや、収穫量と根の張り具合の関係を観察するなど、熱心な取り組みとなっている。



【優秀賞】 長藤 登美枝 さん

受賞理由：玄関フェンス、ベランダに設置しているラティスを利用してプランターにゴーヤ10株、琉球朝顔1株を植え、朝顔の花があることで見た目に楽しい葉が密生したカーテンを作っている。作るにあたって、水を切らさない工夫として朝夕の水やり以外に逆さにしたペットボトルを設置、また10日に1回の追肥、毎朝の誘引、人口授粉など熱心な取り組みとなっている。



【優秀賞】 向井 重三子 さん

受賞理由：玄関前及び部屋の前でゴーヤ7株でカーテンを作っている。部屋の前のカーテンでは、前面と屋根部分を作ることによって日影部分を多くする工夫をされている。日差しを遮った部屋の中から、緑の葉がゆらゆら風に揺られる光景を楽しみ、来年は実成りを良くするため牛糞を使って元肥をすることを考えているなど、意欲をもって取り組まれている。



その他参加作品一覧（順不同）

企 業

理研ビタミン株式会社



日本珪砂株式会社



京セラミタ株式会社 枚方工場



有限会社ライフアップテクニカル



株式会社ヤマジ



三洋ホームズ株式会社
技術本部



個人

和田茂生 さん



川村静男 さん



荒堀昌男 さん



奥田茂樹 さん



前田祐子 さん



亀田由美子 さん



北村寧 さん



川嶋みつぎ さん



宮下興一郎 さん



山田忠 さん



岡崎利雄 さん



松本和子 さん



角屋吉次 さん



砂川さち子 さん



重田純之介 さん



村口ミヨ子 さん



吉田千津子 さん



野田茂 さん



吉田節子 さん



黒田美光 さん



木下武夫 さん



池田佳生 さん



垣内靖男 さん



中村直樹 さん



八尾郷子 さん



加嶋信 さん



永田正純 さん



小山進 さん



野田勝美 さん



恵木智恵子 さん



定金文子 さん



参加者からの「緑のカーテン」による効果・感想（一部抜粋）

○我が子を育てているような気持で、生活に張りができました。

○育てる楽しさと、涼しく過ごせる事と、葉っぱがゆれる風情は最高でした。

○社員皆で取り組み、育てることにより、改めてエコについて考えることができました。

○来年は隙間のない緑のカーテンを目指したいと思っています。

○緑のカーテンはエコ活動の一つとして、今後も普及されるといいですね。私もこれを機に来年はもっと計画性をもって、有効で美しいカーテンを作る夢が膨らみました。

○マンションのベランダなので大きさも制限があり、日当たりも限界がありましたが、来年はベランダ全面にカーテンをつくりたい。

○虫もあまりつかなかったけれど、天候のせいか実が少なかった。

○緑のカーテンに応募した友人がおり、お互い励みになりました。

○スダレとゴーヤに守られて猛暑を乗り切りました。

○緑のカーテンを育てることで自然環境への意識が強くなり、そのことが（会社の取り組み）他者へも影響を与え緑のカーテンへの意識を広めることになって、とても良かった。

○収穫したゴーヤを通じて「今年は大きくなったね」「立派なゴーヤね」といった従業員どうしのコミニュケーションや、環境活動への理解・取り組みが広がってきているように思います。

○水補給する為に、土・日の休日、夏休み連休は守衛さんをお願いして全員のバックアップ体制でできたのが良かったです。

○エコに暑さをしのぐという意識は家族が持つようになったと感じます
またゴーヤに集まる節足動物たちを観察するのは受験勉強の息抜きとして、非常にいいものとなってありがたく感じており、緑のありがたみを改めて感じ、将来へのモチベーションにもつながりました。